

めざす子ども像	体験したり、地域の方と交流したりして、探求活動に主体的に取り組み、相手や目的に応じてまとめたり発表したりすることができる。
学年・学期における探究課題	地域
単元名	『バケツで米作りをしよう』（全30時間=実施時期：4月～12月）
単元のねらい	バケツ稲を栽培して観察したり、お世話になった方を呼んでライスパーティをすることを通して、解決の手順や方法を考え、見通しをもって取り組み、相手や目的に応じてまとめたり発表したりする力を育てる。

		課題設定	情報収集	整理・分析	まとめ・表現
主な活動		バケツで稲を栽培した。	稲の観察をした。	観察結果をタブレットのプレゼンテーションソフトに記録した。	ライスパーティーを開いた。
仕掛け・工夫	もの	バケツで稲を栽培する。	稲の観察をする。	観察結果をタブレットのプレゼンテーションソフトに記録する。 タブレットを使って写真を撮る。	米作りについてプレゼンテーションソフトを使ってまとめる。
	ひと	ボランティアさんに米作りについて説明を聞く。	米作りの作業について説明を聞く。		ボランティアさんを招き、自分たちで作ったお米を使ったライスパーティーを開く。
	しごと (こと)				
	その他				
引き出した姿	いばら愛 <small>(郷土愛と当事者性)</small>	米作りへの関心をもつ。	バケツ稲を育てる中で、米作りをする人の苦勞を知る。		米作りをする人の工夫や思いを学び、感謝の気持ちをもってライスパーティーの準備をする。
	やり抜く力 <small>(向上心と忍耐力)</small>		バケツ稲の世話をする。	バケツ稲の成長を定期的に観察・記録する。	友達と協力して、ライスパーティーをやり抜く。
	まき込む力 <small>(発信力と協働性)</small>			担当の班ごとに記録したことをもとに、協力して内容を整理しことができる。	ボランティアさんを招いてライスパーティを開き、調べてわかったことを発表する。
アウトプットの工夫					

◆ 実際に関連付けた教科・領域、学校行事等

社会科「米作りのさかんな地域」

◆ 実際に連携・接続・交流した他学年、他校（園）種、外部団体等

〈R5〉木之子小学校・5年 単元名『バケツで米作りをしよう』の流れ（探究過程）と活動の実際 担当【東 彩乃】

◆単元のねらい「バケツ稲を栽培して観察したり、お世話になった方を呼んでライスパーティーをすることを通して、解決の手順や方法を考え、見通しをもって取り組み、相手や目的に応じてまとめたり発表したりする力を育てる。」

課題設定

社会科で「米作りの一年」について知り、バケツ稲作りを通して米作りについて学ぶという課題を知る。

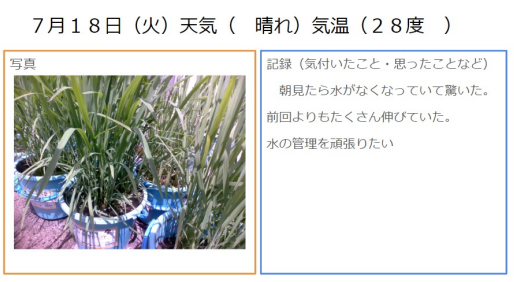
情報収集



佐能直樹さんから米作りについて教えていただく。



田植えをする。



稲の成長の様子をタブレットを利用して定期的に観察する。



稲刈りをする。



脱穀、粳すり、精米をする。

整理・分析

タブレットでバケツ稲観察記録をまとめる。

発表する内容を決める。



観察記録やクイズ形式でまとめる。

まとめ・表現



佐能直樹さんに向けて観察記録やクイズ形式で発表する。



作ったお米を使ってライスパーティーを開き、佐能直樹さんに感謝の気持ちを伝える。

◆成果（○）・課題（△）・来年度に向けて（☆）

- 実際に作業をしたり、観察したりすることで、米作りについての理解を深めることができた。
- ライスパーティーという目標を設定することで、見通しをもって取り組み、目的に応じてまとめたり発表したりする力が育った。
- △子どもたちからやってみたい取組などの意見を引き出すのが難しかった。